

● 糖尿病治療の最前線 ●

神経障害と間違いやすい 手足の「しびれ」

担当医



久保 明先生

医学博士 糖尿病内分泌専門医
医療法人財団百葉の会 銀座医
院 院長補佐・抗加齢センター長

手のしびれの原因が変形性頸椎症にあったYさん

患者氏名	Y・T 様	年齢	45歳	性別	男性	現病歴	糖尿病 軽度の腎症
------	-------	----	-----	----	----	-----	-----------

現役バリバリのYさんは、「自分の体は自分が一番よく知っている」というタイプ。あまり摂生されないこともあり、血糖値のコントロールがうまくいっていませんでした。数年前からは手にしびれを感じるようになり、糖尿病神経障害を治療するお薬も飲んでいたそうです。

当院を受診されたとき、Yさんの血糖値は250mg/dl、ヘモグロビンA1cは10.5%とよろしくない状態でした。それまで通っていた医院では、「このままだとインスリン治療しかない」とも言われていたそうです。

Yさんは、なんとかインスリン治療を避けたいと「気持ちを入れ替えます！」と宣言。生活習慣に気をつけるようになつた結果、数値は下がったのですが、それでもヘモグロビンA1cは8%と高止まり。手のしびれも一向に治まらず、運動もままならない状況でした。

レントゲンとCT検査をしたところ、変形性頸椎症と判明したので、手のしびれの大きな原因は頸椎の障害にあったのです。

糖尿病にはさまざまな合併症があり、その症状は全身に及びます。なかでも手足のしびれは高血糖による神経障害の症状のひとつであり、骨や関節の症状と間違われやすいといえます。

現在、Yさんは糖尿病と同時に頸椎の治療を受けておられます。できるだけ早い回復を願うばかりです。